

徳島県 **生きる力に満ちた体験エリア**

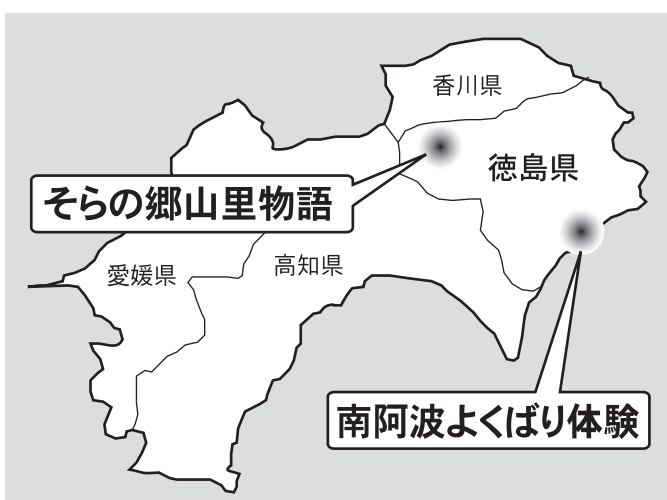


んの生計の知恵や家族のラフティングスボットの助け合いの大切さを学ぶことができる。ラフティングの開始にはインストラクターが説明を行い、安全に注意を払い、初心者でも大勢しめるようにしている。

「これからは、人との交流を大切にしたい」「お家の人は毎日こんな苦勞をして生活をしていると知り驚いた」と、1、2泊の民泊を通じてたくさんのかたちを感じている。うでは力を合わせて、バドミントンや遊泳などを楽しんでいる。また、チーム一丸となつて、かみのある体験、思い出

— 協力 —
 そらの郷山里物語協議会
 三好市役所産業観光部観光課内
 三好市池田町マチ2145-1
 〒778-0002
 TEL0883-72-7620
 FAX0883-76-0203
 月～金(祝・祭日除く)8:30～17:15
 担当：山本・木村・辺見

心の交流・感動体験
そのらの郷山里物語



先臨授業に囲まれ、便利で快適な日常生活を送る都市部・中学生になつて、豊かな自然は、その土地での生活体験を通して初めて実感できる脅威と感動に満ちた世界だ。それは、「生きる力」を体感する生きた教材とも言える。そうした体験学習の1つが、四国・徳島県だ。ここは、教育旅行と連動した体験型観光の受け入れを積極的に行う組む代表的な2つのコア・ネットワーク組織がある。それが「南阿波よくばの体験推進協議会」と「その郷山里物語協議会」だ。2つの組織にサポートをあてて、取り組み姿勢や体験プログラムの内容を紹介する。

刊 週
觀光經濟新聞

宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

第2部

中学教育旅行特集

新たな出会いのはじまり
南阿波よくばり体験



南阿波よこほり体験推進協議会、徳島県南部の海部（かいほ）地域の
中では、自然体験、スポ
ーツアウトドア、漁業、
農林業、味覚体験（海産
物加工）、伝統工芸体験
エリア）だ」と同協議会

A black and white photograph of three young people, two men and one woman, sitting on a concrete pier or boat deck. They are all wearing white lab coats over dark life vests and dark boots. The person on the left is a man holding a small fish in his right hand and a bunch of seaweed in his left. The person in the middle is a man holding a large bunch of seaweed. The person on the right is a woman holding a large fish. In the foreground, there is a large white mesh basket filled with seaweed. The background shows a body of water, a small boat, and a building on the shore. The text '油町' (Aburatsubo) and 'L No. 1' is visible in the bottom right corner of the photo.

伝統漁法をはじめ多様な漁業体験

「定置」を議論しつつ、毎回、実務担当者や担い手らが参加している。

同推進協議会では、フオーラムに合わせた体験として、「サゴの移殖&海中観測船ルーマリン」または「竹ヶ島海水中公網シヤギャク」、「太平」や「打ち網体験」、「太平洋を望む出羽のちみち&心太作」または「無人島半岐大島のウラン復元体験」など、7つの新たな体験・「うみやめふれあい体験&スト

半径25^キ□圏で多様な満足
農林漁業など69種類のプログラム

平成16年にスタートした南阿波よくほり体験は、現在までに24校の教育旅行を受け入れ、今年度もあと9校の受け入れ予定があり、来年度以降も8校の本予約を受けている。

体験プログラムの特徴として、この地域に毎年たくさん上陸するウミガメの観察をはじめ、知られざる清流「海部川」での漂流釣り、無人島参

岐大庭でのシュノーケリングや出羽鳥の心と（と）ていふ作りとトレッキング、鳴り物入りで阿波踊りの踊り方を習い踊る阿波踊り体験、四国霊場38ヶ所お遍路の体験など、南阿波より北へ体験ならではの体験を多数用意している。

また、伊勢男老や鰐（ハモ）の日本有数の水揚げを誇る南阿波では、伊勢男老刺し網体験、伝統漁漁夫釣り網漁（追い込み）体験、定置網漁体験、ホタル、旅館、民宿、キャンプ

港町からこの漁業体験は、もちろん、林業の「ゆず」の収穫や、特産園芸作物の5月から10月にかけてできる、シールヤカク、シュノーケリング、サーフィン、ボディーボードなどのマリンスポーツ体験なども楽しめる。

平成10年度からは、豊林漁家活体験として民

高さ95m、ツリーのよな世界最大級のサン
ヤンプ場など合わせて32
軒の施設が利用可能で、
最大1日約13000人を
収容できる。

「このよくばりな体験
「第8回全国ほんも
エリア南阿波をぜひ一度
来年、3月18・20
はず」「同推進協議
っ満足していただ
たすねてみてほし



ムは、全国の同業者が
 開かれる。同業者は
 ネットワーク（約30
 体が参加）が04年か
 催し、体験型観光で
 を上げている地域の



木リモン（牟岐大島）

— 協力 —
南阿波よくばり体験推進協議会
牟岐町役場 3F
海部郡牟岐町大字中村字本村7-4
〒775-8570
TEL0884-72-2622
FAX0884-72-2623
<http://www.minamiawa.info>
E-mail:yokubari@minamiawa.info

生徒の山村体験文集より

すんめいに 光を放つ ホタルたち
生きる姿に すごく感動

手にホタル はじめて包み 見上げれば
空一面のプラネタリウム

美しき 阿波の自然に 魅了され
僕の心に 一生(ひとよ)の思い出

徳島で 仲間と一緒に 協力し
いろんな作業で なかよくなれた

ごちそうが たくさんできて 腹一杯
料理の中に こまる優しさ

三日間 いつも笑顔で すごしたよ
忘れられない 感謝の気持ち

徳島の 写真を見るたび 思い出す
上田さんの 温かさが

大自然 星はビヨビヨ 鳥の声
夜はキラキラ 星が輝く

う一つ 家族ができた 宮内家
今も思い出す 楽しい思い出

おばあちゃん そばを作るの 楽しくて
家で家族に 作ってあげたい

**第8回「全国ほんものの体験フォーラム」が
平成23年3月、徳島県で開催。**

体験型観光のさらなる発展を目指し、回を重ねてきた「全国ほんもの体験フォーラム」も第8回を迎え、今年度は徳島県で開催することが決定いたしました。本フォーラムでは、受け入れ先進地、旅行会社、国や自治体、学校教育関係者など体験型観光に熱い思いを寄せる人が一堂に会するため、「ほんもの体験」の理念や地域振興の手法、全国各地の取組事例や課題など体験型観光についての「本音」が聞けます。さらに、本フォーラムは、「学ぶ場」としてだけでなく、全国の情熱ある推進者たちと広く交流し、高い志を共有する場としても絶好の機会となっています。体験型観光は、教育問題、地域活性、観光振興、環境問題などあらゆる日本の社会問題の解決策となる有効な手段であり、多くの人がいっているように形に関わることができる総合産業です。平成23年3月18日（金）～20日（日）の3日間、多くの方と第8回「全国ほんもの体験フォーラムin徳島」で交流を深めることを願い、皆様のご参加をお待ちしております。

開催予定日 3月18日(金)、19日(土)、20日(日)

プログラム 体験ツアー、全体フォーラム（事例発表、記念講演、公開パネルディスカッション、情報交換会）、課題別研究分化会など

●主催 第8回全国ほんもの体験フォーラムin徳島実行委員会

●共催 全国ほんもの体験ネットワーク